

君に逢う

連作和歌 百首歌集

2008/2/6-10/2

8001	君に逢う今宵銀座の四丁目すずらん通り淡雪の降る	弁慶	2月6日 22時48分
8002	備前屋の銘菓あわ雪ひさしかり靱帯いためとも帰りゆく	れん	2月20日 18時58分
8003	日の本に古来名刀数あれど備前長船切れ味よろし	弁慶	2月23日 00時04分
8004	かの古きローマの春に憩はばや旅の心を歌に残さん	重陽	2月23日 16時42分
8005	賽投げてルビコン渡りしカエサルの勇気を偲び西の空見る	弁慶	3月1日 20時42分
8006	一病は戻り易きと心せど西の空より黄砂もふもふ	やんま	3月3日 13時57分
8007	ものみなのをいとしければこぼれだね判のありをり友の手紙は	海月	3月8日 12時13分
8008	生きることがなにが無きにもうれしきに日々掬ひとらん小さき宝を	真奈	3月10日 23時40分
8009	黒沢の「生きる」の最後ブランコの命短し恋せよ乙女	弁慶	3月12日 00時21分
8010	明らかに黒澤らしき店構え巨匠好みの手打ち蕎麦など	重陽	3月12日 15時54分
8011	息深く吸って吐き出し蕎麦の粉に美味くなれよと語って撫でる	海斗	3月15日 07時54分
8012	我がためにコレステロール下げよかしダッタン蕎麦茶日々にたしなむ	弁慶	3月15日 09時19分
8013	日本のコレストロールは如何にせむスリムスリムと叫ぶは易し	雛菊	3月16日 16時59分
8014	通風も動脈硬化も飢えのなきこの幸せを如何に思わん	重陽	3月16日 18時27分
8015	幸ひの内も憂ひの最中にも花降る里の恋ひしかるらむ	海斗	3月23日 08時18分
8016	天城越え河津の村を我れ訪はば花散る里となるにけるかも	弁慶	3月23日 13時34分
8017	温もりの昨日の春が今日の冷え暫し楽しむ四温の明日を	重陽	3月24日 09時10分

8018	哀しみの日々の明け暮れ胸ふさぐ明日よふたたび甦れかし れん	れん	3月28日 10時50分
8019	君は今花の盛りに逝きたまふ魂安らかに帰れ韓へと	真奈	3月28日 22時23分
8020	をさな子の遺影に向かひぎこちなく合はす手やあはれ微笑むやあはれ	海斗	3月29日 06時14分
8021	桜はなはや散りゆくか幼らのけふの別れに小雨も降りぬ	れん	3月30日 23時10分
8022	折々の四温の日々に春開けて小雨に遠き山桜かな	重陽	3月31日 08時57分
8023	やはらかに花降る小道辿り来てせんせんと行く沢の水飲む	やんま	4月3日 08時03分
8024	せせらぎと小道があればなになくも歌ごころもて辿り尽くさん	誕生日に 寄す・重	4月3日 09時23分
8025	みそらへと賑わう声の立ちのぼり照る日にそよぐ桜花かな	海斗	4月5日 05時51分
8026	桜薬降る天心の月白く事故死の友を見送るはわが	重陽	4月16日 05時38分
8027	桜薬降る足柄の古き道虎御前休みし大きな石あり	弁慶	4月19日 19時48分
8028	薬さへも残ってをらず弘前は大型連休林檎の花見	雛菊	5月2日 20時57分
8029	折々の風と遊べる花の日々定年退職以後の連休	やんま	5月4日 13時23分
8030	柔らかな風ですみそらあおあおと千鳥鳴く音を吸い込みたまう	海斗	5月6日 12時09分
8031	風吹けば巫女打ち鳴らす鈴に似し桐の花咲く山辺の道	弁慶	5月7日 23時47分
8032	うす色の五月の空の日のなかにうす紫の桐の花見ゆ	重陽	5月8日 06時16分
8033	薄紅の五月雨菘の花咲けり小夜の中山朝露の中	弁慶	5月13日 14時08分
8034	目瞑りて昨日を今日のごと思ふ朝霧の山夕暮れの谷	ぼぼな	5月23日 10時52分
8035	初夏の岬に立ちて爽やかな景に生気を愛でて楽しき	重陽	5月25日 08時03分
8036	東見れば真鶴岬南見れば伊豆の島々実朝の歌碑	弁慶	5月25日 22時52分
8037	ゆっくりと地平をのぼる観覧車街遠ざかり海の近づく	くりおね	5月30日 18時31分
8038	つゆ入りの空やわらかく光りいてその光りもと歌をたのしも	重陽	6月3日 09時53分

8039	雨降らば傘さすは人見渡せば他の生類はしたすら濡るる	やんま	6月3日 15時13分
8040	駅を出てセーラー服を濡らし行く傘をかければ少女ふり向く	くりおね	6月3日 22時21分
8041	弾む声銀杏並木の通学路セーラー服の長き列かな	弁慶	6月4日 07時53分
8042	雨長き海原わたる白蛇に昇る朝日が穴をあけゆく	獅子鮫鱈	6月5日 23時12分
8043	一文字を宵の高みに描きつつ南に向うANAのジャンボ機	重陽	6月7日 18時38分
8044	ぺったりと地球にはりつく太平洋日本をめざすタンカーのあり	くりおね	6月8日 06時00分
8045	往く船のバラスト代り米積むか麴麴の耳やる小雀たちに	海月	6月14日 18時01分
8046	あれこれと工夫仕掛けのさびき釣りその甲斐ありて老いも楽しき	重陽	6月18日 05時10分
8047	山奥に棲むは山女に釣人の足音近くなりて茂みに	くりおね	6月22日 18時39分
8048	山男カメラ片手に問ふ先に花らこぞりて清姿を競ふ	獅子鮫鱈	6月28日 23時34分
8049	里の灯の恋しくなりて山男ゆらゆらゆらと吊橋渡る	やんま	7月3日 06時14分
8050	アングルを広重に立ち夏の富士波間にゆれるサーファーの群れ	重陽	7月4日 04時37分
8051	高山病も一夜あけ山小屋の下界にひばり富士御来光	くりおね	7月5日 08時33分
8052	ひばりより空にやすらふ峠とぞ蕉翁思ひビール傾く	獅子鮫鱈	7月15日 08時05分
8053	むし暑き都心の店の一夕に幾度も満たすビールのグラス	重陽	7月26日 16時01分
8054	幾度もビール乾杯止めど無し有楽町の「かんだ」なる店	弁慶	7月26日 17時35分
8055	酔うほどになんだかんだと小言あり山手線のめぐるとくにご	獅子鮫鱈	7月26日 20時18分
8056	とめどなく飲めや歌えやビールつぐなんといいても料理が美味い	くりおね	7月26日 23時22分
8057	炎暑にもようやく馴れる心地してビール片手に宵を楽しむ	重陽	7月29日 13時48分
8058	藍色の文字はゆるりとうねりたり葉書の中に涼やかな川	雛菊	8月1日 20時43分
8059	葉書から螢とびくる涼しさよ里山に住む君からの文	獅子鮫鱈	8月1日 21時37分

8060	次々と定期に届く郵便は地域限定の無料の冊子	くりおね	8月2日 08時01分
8061	朝なसान折込みという広告を誰か止めがな故なき無駄を	重陽	8月2日 18時07分
8062	広告の安売り競争けふ長けて玉子を買いに西に東に	やんま	8月3日 06時20分
8063	待ちわびてハンドルにぎる日課なり四季のめぐりに目を見ひらけり	くりおね	8月3日 07時01分
8064	この夏のすでに日差しのうつろいにいるは名残のけさの朝焼け	重陽	8月4日 05時08分
8065	雲晴れて秋の気配を知る日なり北の空には夕焼けの富士	弁慶	8月10日 09時38分
8066	富士こそは世界の果ての極東で朝を先ず知る霊峰である	獅子鮫鱈	8月16日 00時09分
8067	稜線を昇る朝日に額ずきて少女となりし富士の裾原	寂	8月19日 00時26分
8068	朝の日も夕の日もみず部屋ずまひ雷鳴にはかに夏は過ぎゆく	れん	8月23日 13時26分
8069	夕べには巫山の雨が夢洗ひ朝には雲が秋へと帰る	獅子鮫鱈	8月23日 23時13分
8070	早暁の磯に竿ふる装いが夏を惜しみつ日々変わりゆく	重陽	8月24日 05時23分
8071	鎌倉の灯台白し海青し集いしビールの生唾をのむ	くりおね	8月25日 23時14分
8072	呑む唾に固唾もありし五輪過ぎ日本の今日は煙る秋雨	獅子鮫鱈	8月26日 18時54分
8073	さわがしき深更からの雷鳴が早暁までも寝るな寝るなど	重陽	8月30日 16時16分
8074	おだやかな明るい午後をうたたねすときおりテニスボールのひびき	くりおね	9月1日 20時17分
8075	やりとりはテニスのごとーがよかろうにボール握りて離さぬ与党	獅子鮫鱈	9月1日 23時15分
8076	離れゆく岸に名残りの月見草夢も現も流れゆくまま	やんま	9月3日 18時22分
8077	列島の豪雨今はたこの秋は現のことというも恨めし	重陽	9月4日 05時09分
8078	天老いて近年頻にゆまりせば朝な夕なに未曾有の雨量	獅子鮫鱈	9月4日 20時59分
8079	昼は蟬夜はこおろぎ今生に別れを惜しみ声張りあげる	くりおね	9月5日 19時19分
8080	日毎には気づかぬままに江ノ島に立ちて久しき秋の日の出を	重陽	9月7日 18時24分

8081	秋は月 相場はそれでよいのだが酒はひとりかそれにつけても	獅子鮫鱈	9月8日 21時00分
8082	わいわいと楽しき酒は重九の気ばかり若きわが誕生日	重陽	9月9日 19時00分
8083	重陽に生まれし人は数あれど九九に勝れる献寿はありや	獅子鮫鱈	9月9日 19時28分
8084	ほろ酔いに100まで一緒に生きましよう人生万歳千代に八千代に	くりおね	9月9日 21時54分
8085	ひさびさに訪ひくれば重陽の君を言祝ぐ歌のゆかしき	真奈	9月13日 08時10分
8086	君に請ふ酒はまだあり歌舞くべし白寿の朱顔を紅葉と愛でむ	獅子鮫鱈	9月13日 10時21分
8087	爽やかな祝の歌が嬉しくて年甲斐もなく弾むバースデイ	重陽	9月14日 11時47分
8088	がり刷りの家族新聞五冊持ち嫁いで行けり秋の佳き日に	雛菊	9月18日 00時16分
8089	新しい命を宿し里帰り賑やかになり蜜柑色づく	くりおね	9月20日 07時01分
8090	世に秋は紅葉ばかりにあらざれば柿も喰らいて寺の鐘聴く	獅子鮫鱈	9月20日 19時47分
8091	秋の夜のしとつく風やわが生に波乱の予兆たゆる間もなし	れん	9月21日 21時32分
8092	余り生(よ)に紅葉降らせよ万華鏡そのくれなるの心忘れず	真奈	9月22日 20時30分
8093	夕暮れのやまなみそめて空青し一番星は明日への希望	くりおね	9月22日 21時48分
8094	空青くその花赤き富士薊今年も咲けるよ五合目の辺り	弁慶	9月23日 22時14分
8095	又の名を須走牛蒡なる富士薊根を食すとは言へカン違ひせしこと	真奈	9月24日 09時46分
8096	うっすらと遙か彼方の雲海に御来光拝む人々の影	くりおね	9月24日 19時52分
8097	今しがた竿振りおれば半島を盆にし赤き今日の太陽	重陽	9月25日 07時06分
8098	金秋の岬に立てば海を踏む思ひ勝りて船を見送る	獅子鮫鱈	9月25日 22時54分
8099	十代で描きたりにしかの作品もとめ探せど「海」はこたえず	れん	10月1日 21時10分
8100	校庭に学生服を見つけては金木犀が香りはじめる	くりおね	10月2日 19時00分